

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年5月25日発行

－ 2017.5.15～ 2017.5.21－第20週－

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第17週	第18週	第19週	第20週	
水痘	3 0.60	1 0.10				5 1.00		3 0.11	12 0.20	493				○	レ
流行性耳下腺炎		1 0.10	1 0.20		1 0.33			11 0.41	14 0.24	222					
百日咳									0 0.00	6					
感染性胃腸炎	73 14.60	63 6.30	21 4.20	16 8.00	14 4.67	29 5.80		331 12.26	547 9.27	5,056	◎	◎	◎	◎	
手足口病	2 0.4	2 0.2	1 0.20			1 0.20	1 0.50		7 0.12	38					
伝染性紅斑	5 1	2 0.20						1 0.04	8 0.14	49					
突発性発しん	1 0.20	4 0.40	4 0.80	2 1.00	4 1.33	5 1.00		19 0.70	39 0.66	602	○	○	○	○	
ヘルパンギーナ			2 0.40						2 0.03	15					
インフルエンザ	21 2.63	27 1.80	14 1.75		27 5.40	23 2.88	11 2.75	81 1.84	204 2.15	26,779	◎	◎	◎	◎	
咽頭結膜熱		17 1.70		2 1.00	1 0.33	5 1.00		21 0.78	46 0.78	455	○	○	○	○	
流行性角結膜炎		3 1.00							3 0.25	40					
急性出血性結膜炎									0 0.00	0					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26 5.20	47 4.70	8 1.60	1 0.50	4 1.33	49 9.80	3 1.50	74 2.74	212 3.59	3,293	◎	◎	◎	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0					
無菌性髄膜炎									0 0.00	0					
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00					2 0.17	103					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0					
RSウイルス感染症		1 0.10		2 1.00		2 0.40		6 0.22	11 0.19	202					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	49					
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	6	1	2				2							
	川崎病	1						1							
	不明発疹症							1							

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

石巻管内 男性1名
塩釜管内 女性1名(第14週)
大崎管内 女性1名
登米管内 女性1名(第19週)、男性1名
仙台南管内 男性1名、
仙台北管内 女児1名※(第19週)、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)

石巻管内 男性1名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

塩釜管内 女性1名
仙台南管内 男性1名

梅毒

仙台南管内 男性1名、女性2名

※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南、石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第17週採取分 (4.24～4.30)	第18週採取分 (5.1～5.7)	第19週採取分 (5.8～5.14)			
インフルエンザウイルスA(H3)	2件	0件	0件			
インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)	2件	0件	0件			
RSウイルス	0件	0件	1件			
ヒトニューモタモウイルス	0件	0件	1件			
ムンプスウイルス	0件	1件	0件			
アデノウイルス	1件	1件	0件			
ライノウイルス	2件	1件	0件			

4. 今週のコメント

【梅毒】

2017年は、県内ですでに20例の患者が報告されています。昨年の報告数は同時期で3例、年間でも29例であり、今年は患者が増加傾向にあります。梅毒は抗生物質による治療が可能ですが、終生免疫を得られず再感染することもあります。また、妊娠中の母子感染による先天性梅毒も懸念されます。感染が疑われる症状がみられた場合には、早期に医師の診断・治療を受けることが重要です。

なお、県及び仙台市では、各保健所において無料で梅毒抗体検査を実施しています。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

